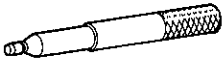



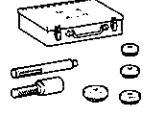


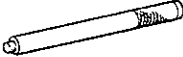
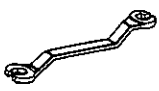


2 クラッチ

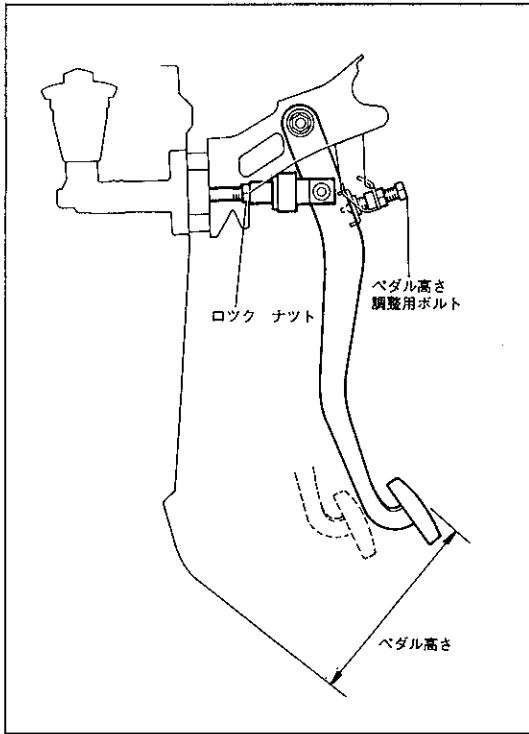
	ページ
準備品	2-2
クラッチ ペダル	2-3
ターン オーバ付きクラッチ ペダル.....	2-4
クラッチ マスタ シリンダ	2-6
クラッチ レリーズ シリンダ	2-9
クラッチ本体	2-11

準備品

		09301-20020 ツール, クラッチ ガイド	クラッチ ディスク ガイド用
		09303-35011 プラー, インプット シャフト フロント ベアリング	ベアリング取りはずし用
		09315-00010 リムーバ アンド リプレー サ, クラッチ レリーズ ベ アリング	レリーズ ベアリング脱着用
		09333-00012 アライナ, クラッチ ダイア フラム スプリング	ダイアフラム スプリング フィンガ部高さ調 整用
SST		09620-30010 リプレーサ セット, ステア リング ギヤ ボックス	
		09623-30010 リプレーサ, ステアリング ウオーム ベアリング アン ド オイル シール	ベアリング取り付け用
		09627-30010 リプレーサ, ステアリング セクタ シャフト プシュ	ベアリング取り付け用
		09631-00020 ハンドル	ベアリング取り付け用
		09751-36011 レンチ, ブレーキ チューブ ユニオン ナット	クラッチ チューブ切り離しおよび接続用
計器	ダイヤル ゲージ		ダイアフラム スプリング フィンガ部高さ点検用 クラッチ ディスク振れ点検用 フライホイール振れ点検用
油脂 その他	トヨタ純正ブレーキ フルード 2400G		エア抜き用

クラッチ ペダル

クラッチ ペダルの高さおよび遊び調整



D1107

1 ペダル高さ調整

- (1) ペダル パッド上面からフロア パネル上面までの高さをストッパ ボルトで調整する。調整後ロック ナットでボルトを固定する。

基準値 ターン オーバなし 158～168mm

ターン オーバ付き 158～168mm

注意 A・D付き車はクラッチ スイッチで調整するためコネクタを切り離してから行う。

- (2) 調整後ペダルを2～3回踏んで基準値になっていることを確認する。

2 ペダル遊び調整

ターン オーバなし

- (1) ロック ナットをゆるめて、プッシュ ロッドを回してペダルの遊びが基準値内になるように調整する。調整後、ロック ナットでプッシュ ロッドを固定する。

基準値 プッシュ ロッドの遊び (ペダル上にて) 1～5mm

総合の遊び 5～15mm (GX, LX, YX系)

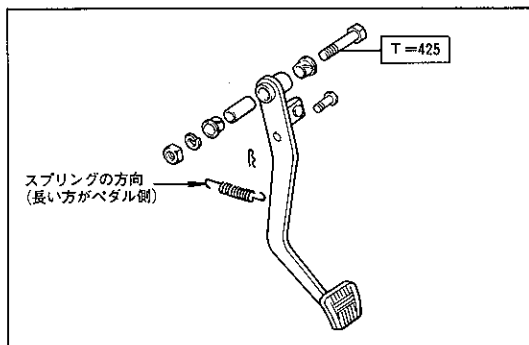
13～23mm (SX系)

ターン オーバ付き

- (1) プッシュ ロッドのロック ナットをゆるめて、プッシュ ロッドを左へ回転させ車両後方に移動させてゆき、ロッドの先端がマスタ シリンダのピストルに当たり回転が重くなった時点で回転をとめる。

次に右へ1/4～1/2回転もどして遊び調整を行う。調整後、ロック ナットでプッシュ ロッドを固定する。

基準値 総合の遊び 5～15mm



D0400

クラッチ ペダル脱着 (ターン オーバなし)

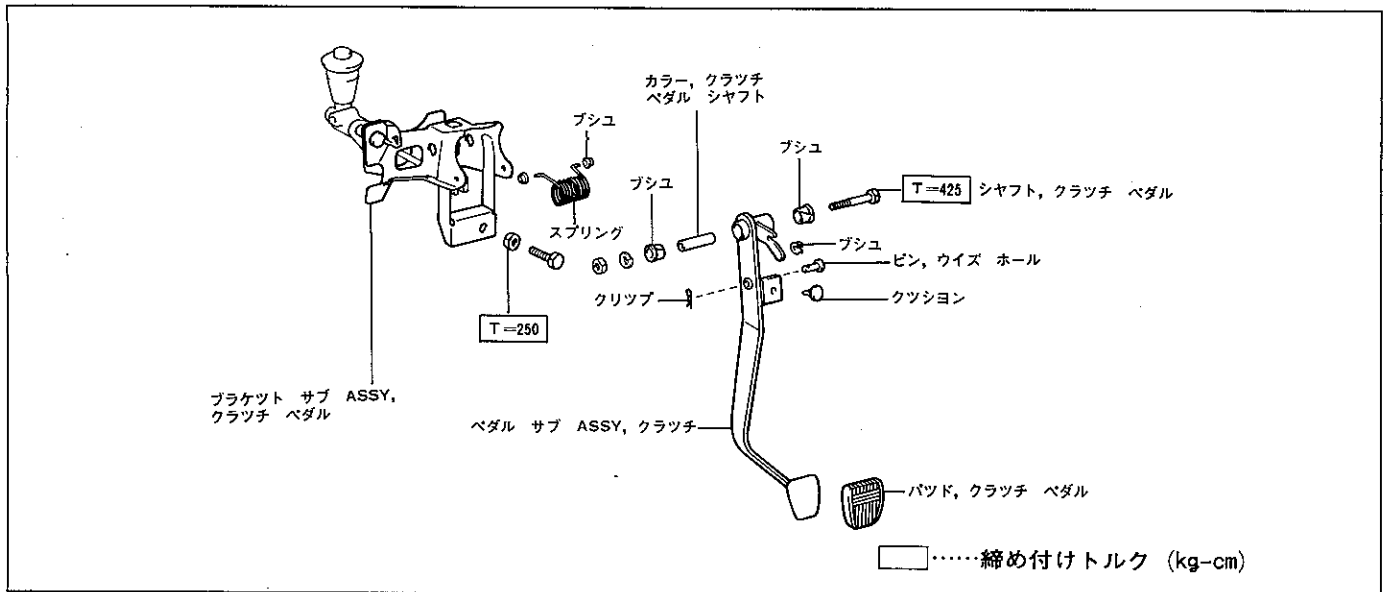
注意 ・ペダル取り付け時次の箇所にキャブスル MP グリース No.2を塗布する。

プッシュ、カラー、スプリング両端

・スプリングの方向性を間違えない。

ターン オーバ付きクラッチ ペダル

構成図



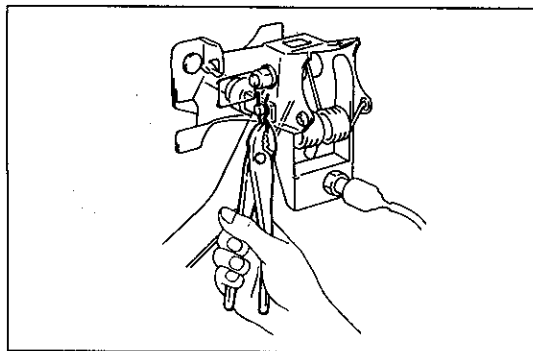
D0404

クラッチ ペダル脱着

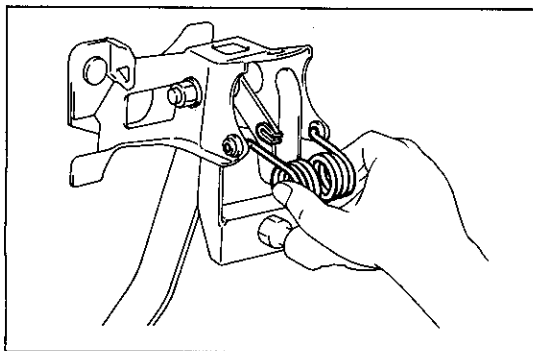
1 クラッチ ペダル取りはずし

- (1) クリップおよびクレビス ピンを取りはずし、プッシュ ロッドとクラッチ ペダルを切り離す。
- (2) クラッチ ペダルを押し踏んだ状態で固定する。
- (3) ターン オーバ スプリングを取りはずす。

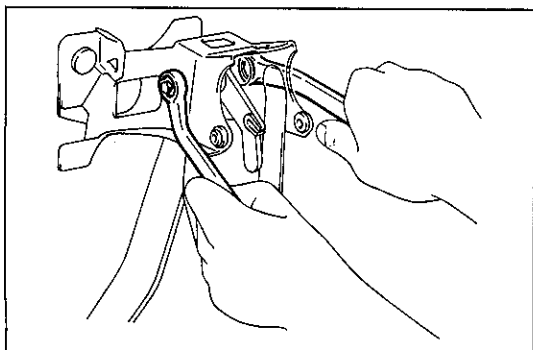
- (4) セット ナットおよびシャフトを取りはずし、クラッチ ペダルを取りはずす。
- (5) クラッチ ペダルより下記部品を取りはずす。
 - ① カラーおよびプッシュ 2個
 - ② パッド
 - ③ クッション



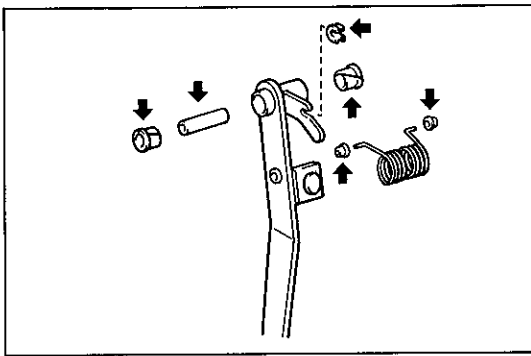
D1108



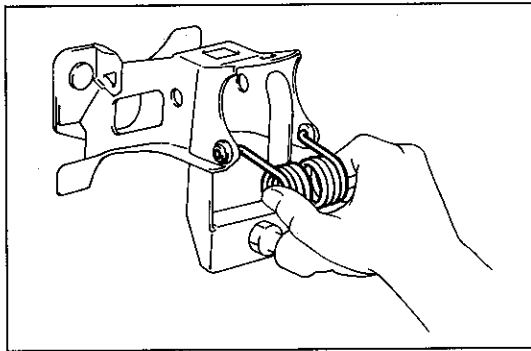
D1109



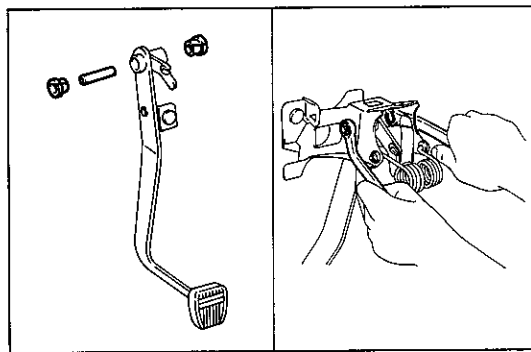
D1110



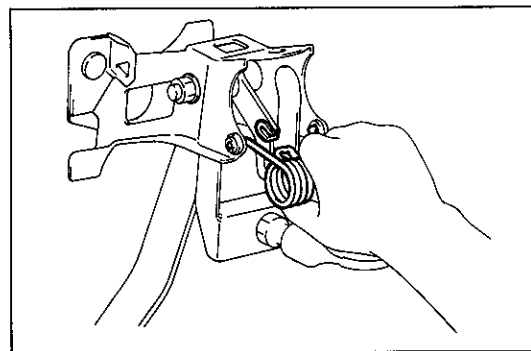
D1111



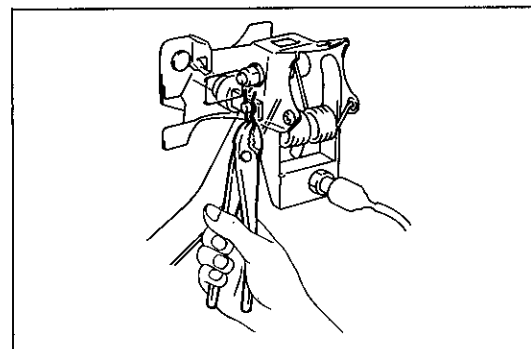
D1112



D1113 D1114



D1115



D1108

2 クラッチ ペダル取り付け

- (1) クラッチ ペダルにパッドおよびクッションを取り付ける。
- (2) 矢印に示す部位にキヤッスル MP グリース No.2 を塗布する。

- (3) ブラケットにターン オーバースプリングを取り付ける。

- (4) クラッチ ペダルにカラーおよびブッシュ2個を取り付ける。
- (5) ブラケットにナットおよびシャフトでクラッチ ペダルを取り付ける。

T=425kg-cm

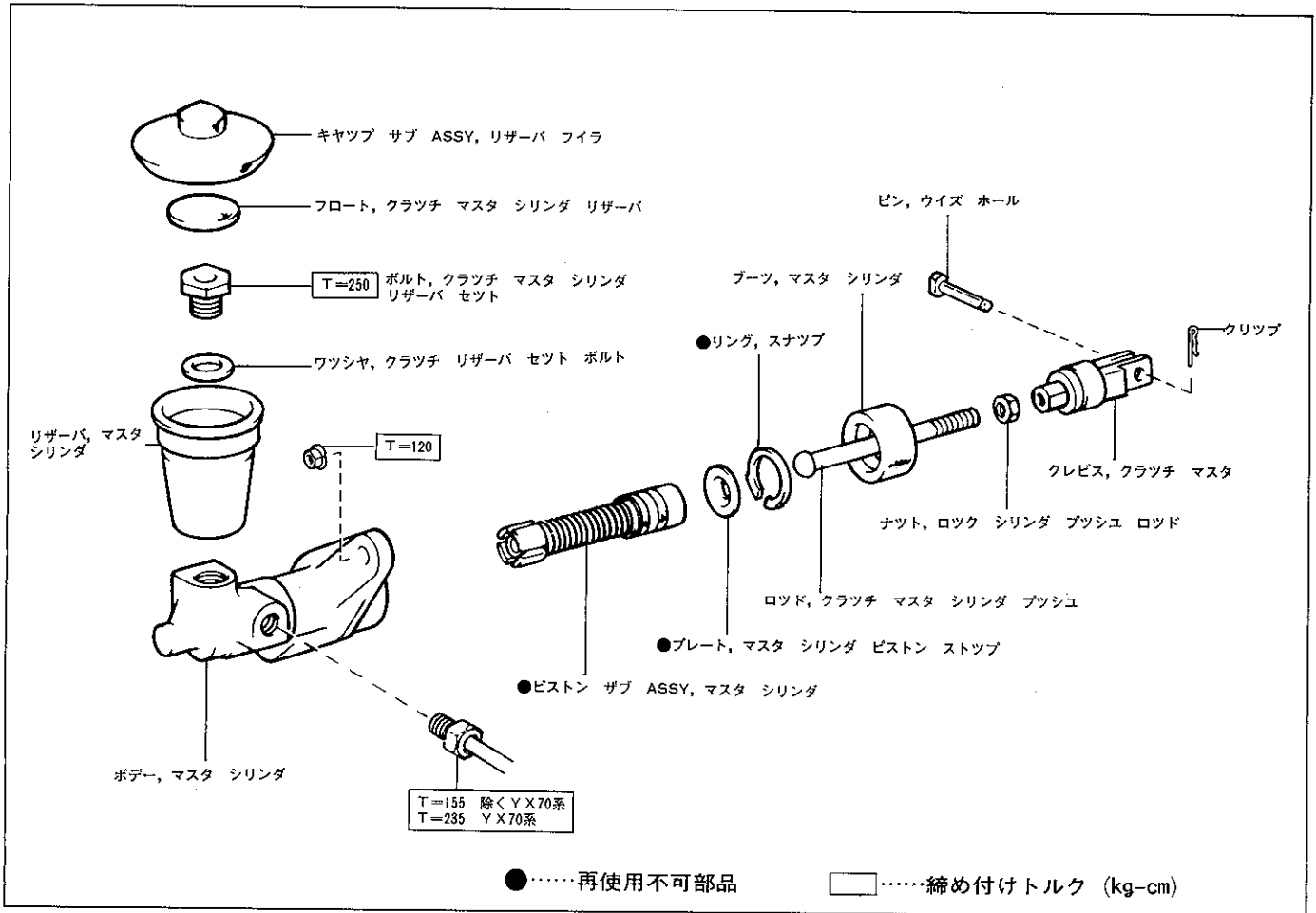
- (6) クラッチ ペダル先端のフック部にターン オーバースプリングを取り付ける。

- (7) ブッシュ ロッドのクレビスをクレビス ピンおよびクリップで取り付ける。

- (8) クラッチ ペダルの高さおよび遊びを調整する。(S 2-3 参照)

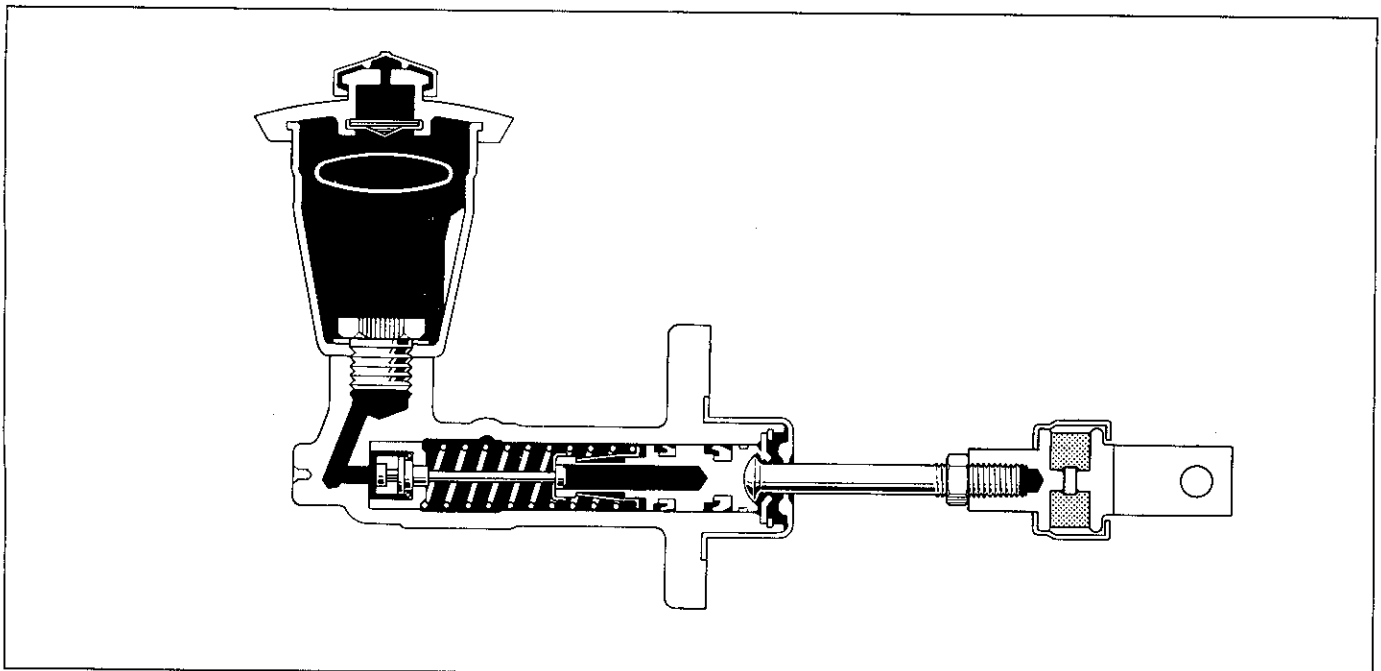
クラッチ マスタ シリンダ

構成図

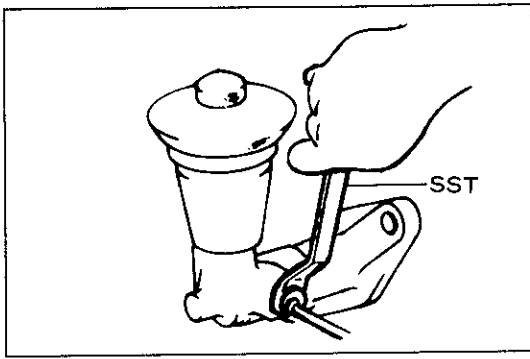


D0401

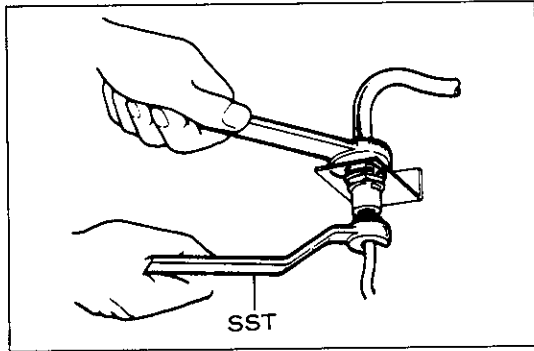
断面図



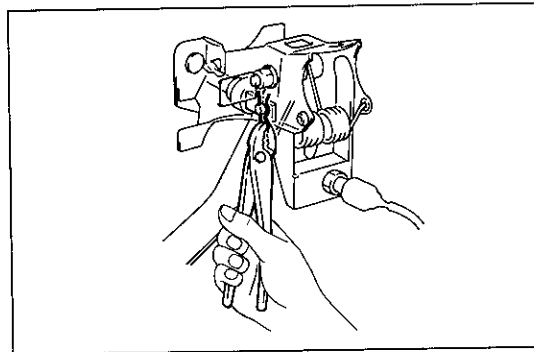
C3116



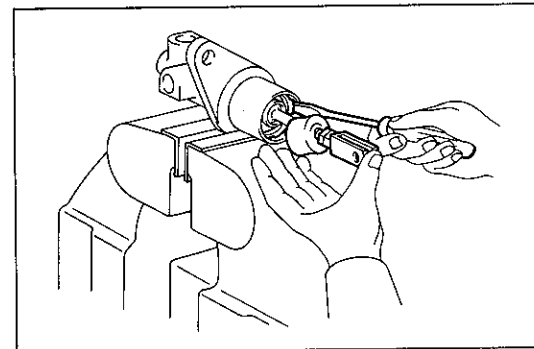
B1982



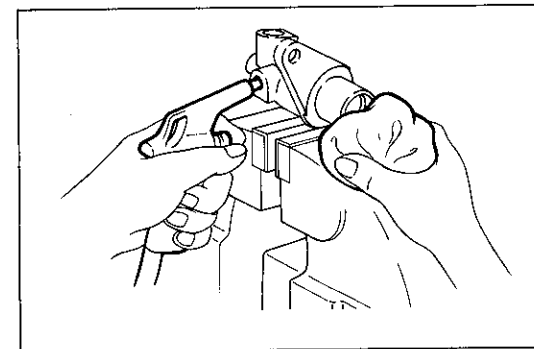
B0887



D1108



D0405



D1116

マスタ シリンダ取りはずし

1 フルード抜き取り

(1) リザーバのフルードをスポイトなどで空にする。

2 クラッチ チューブ切り離し (除く YX70系)

(1) SSTを使用してチューブを切り離す。

SST 09751-36011

注意 作業の際、ブレーキフルードが塗装面に付着しないようにする。

3 フレキシブル ホース切り離し (YX70系)

(1) SSTを使用してチューブを切り離す。

SST 09751-36011

注意 作業の際、ブレーキフルードが塗装面に付着しないようにする。

(2) マスタ シリンダからフレキシブル ホースを切り離す。

4 インストルメント ロー フイニツシュ パネルおよびエアダクト取りはずし

5 スプリング取りはずし (除くターン オーバ付き)

6 クリツプおよびウイズ ホール ピン取りはずし

7 マスタ シリンダ取りはずし

(1) マウンテイング ナットをはずしてマスタ シリンダを取りはずす。

マスタ シリンダ分解

1 マスタ シリンダ固定

注意 シリンダ部は変形する恐れがあるのでバイスにはさまない。

2 シリンダ リザーバ取りはずし

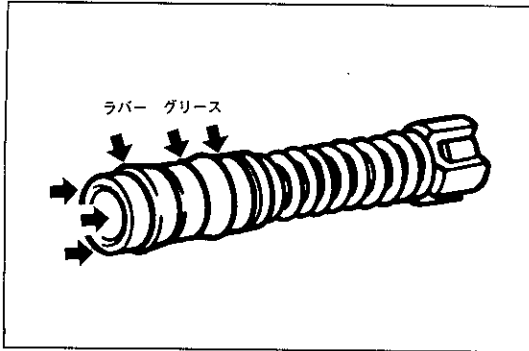
3 プツシュ ロッド取りはずし

(1) ブーツおよびスナップ リングをはずしてプツシュ ロッドを取りはずす。

4 ピストン ASSY取りはずし

(1) 圧縮空気を使つてシリンダからピストンを取りはずす。

注意 ピストンが勢いよく飛び出す恐れがあるのでウエスなどでふさぐ。



B2008

マスタ シリンダ組み付け

1 キヤツスル ラバー グリース塗布

(1) 取り付け前にカップとピストンにキヤツスル ラバー グリースを塗布する。

2 ピストン, ストップ プレート, プツシュ ロッド, スナップ リング, ブーツ取り付け

3 シリンダ リザーバ取り付け

T=250kg-cm

マスタ シリンダ取り付け

1 マスタ シリンダ取り付け

(1) マウンテイング ナットでマスタ シリンダをボデーに取り付ける。

T=120kg-cm

2 クラッチ チューブ取り付け (除く Y X70系)

(1) SSTを使用してクラッチ チューブを取り付ける。

SST 09751-36011

T=155kg-cm

3 フレキシブル ホース取り付け (Y X70系)

(1) マスタ シリンダにフレキシブル ホースを取り付ける。

T=235kg-cm

(2) SSTを使用してクラッチ チューブを取り付け、クリップをそう入する。

SST 09751-36011

T=155kg-cm

4 プツシュ ロッド取り付け

(1) ピンおよびクリップでプツシュ ロッドをクラッチ ペダルに取り付ける。

5 スプリング取り付け (除くターン オーバ付き)

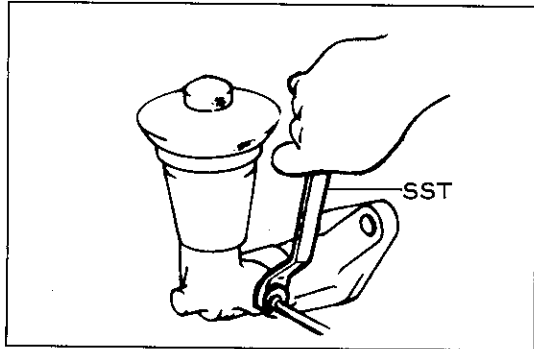
注意 スプリングの方向性を間違えない。

6 エア ダクトおよびインストルメント ローワー フィニツシュ パネル取り付け

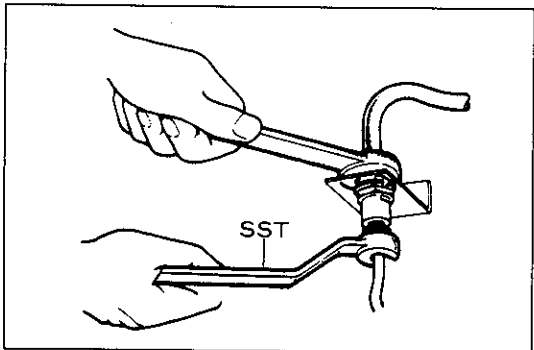
7 クラッチ エア抜き

8 クラッチ ペダル点検および調整

(S 2-3 参照)



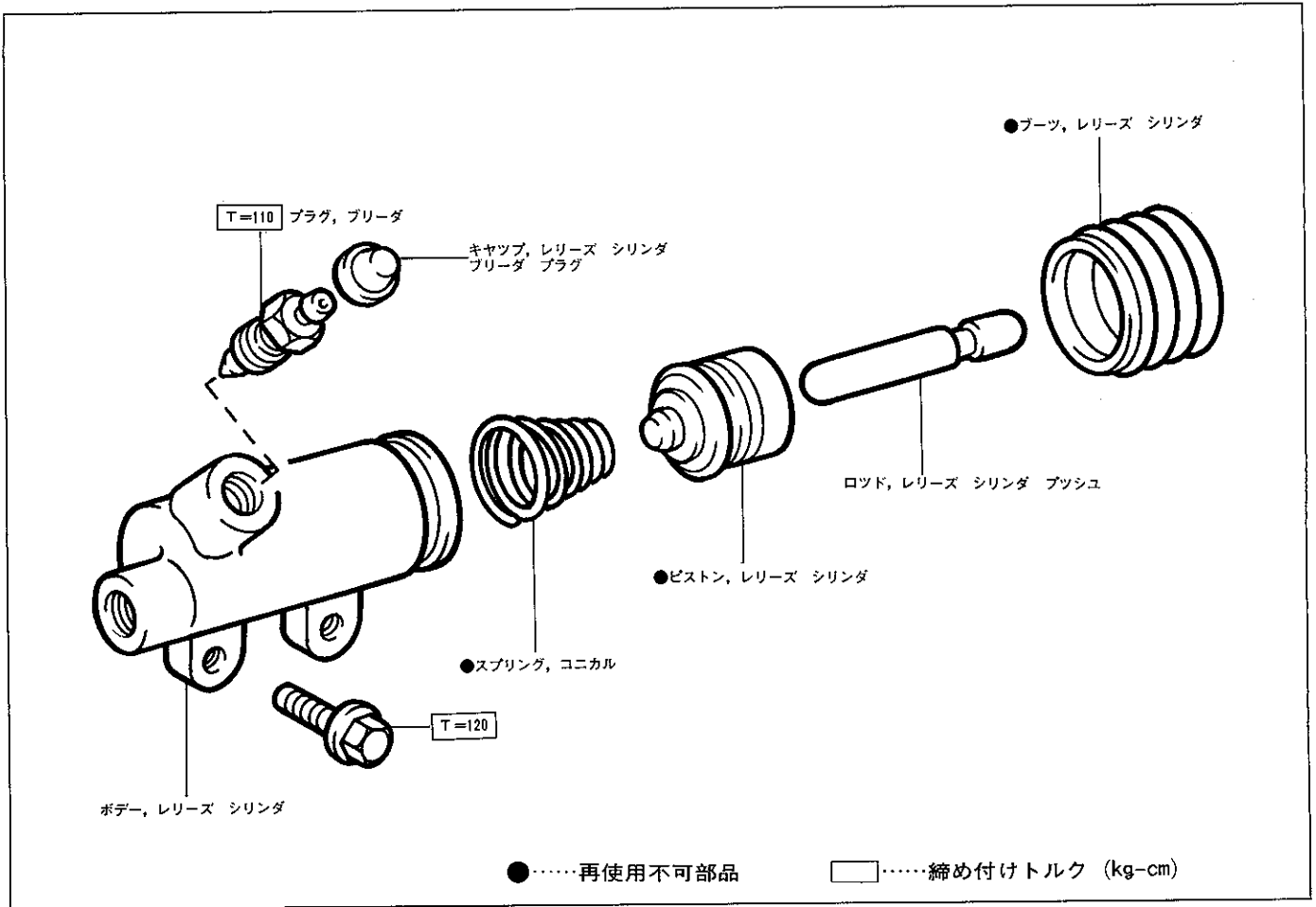
B1982



B0887

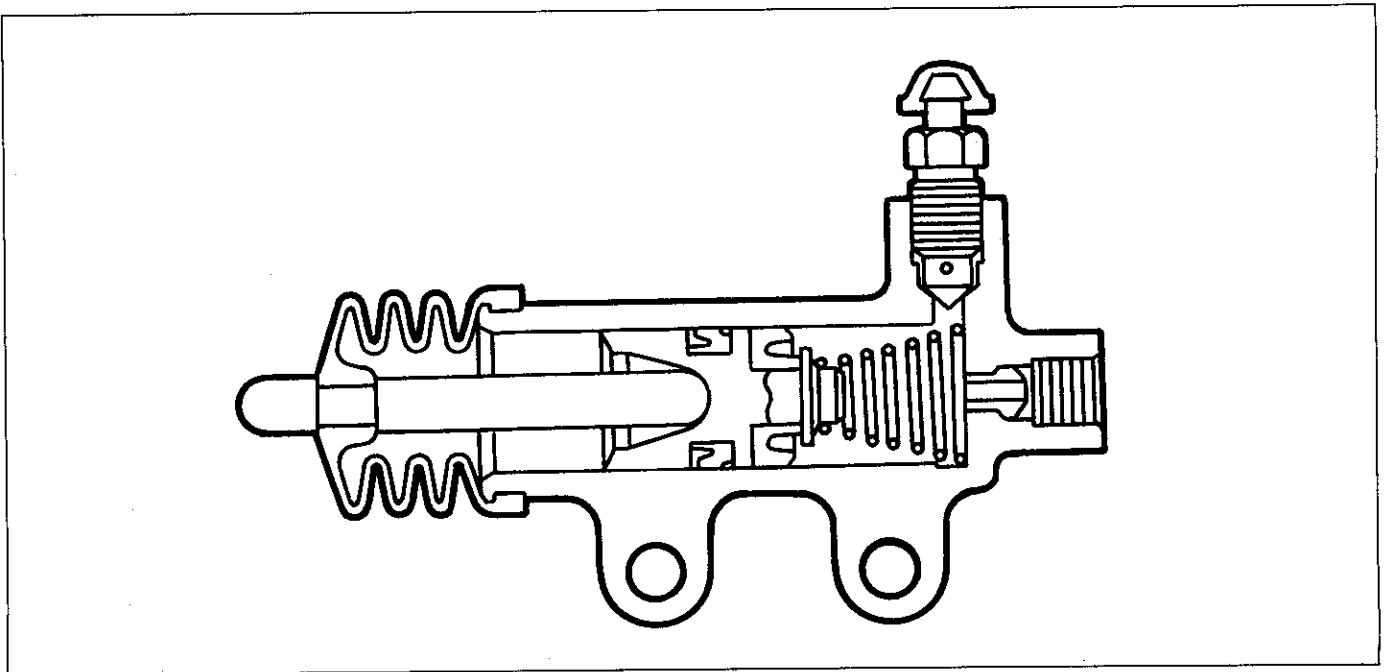
クラッチ リリーズ シリンダ

構成図

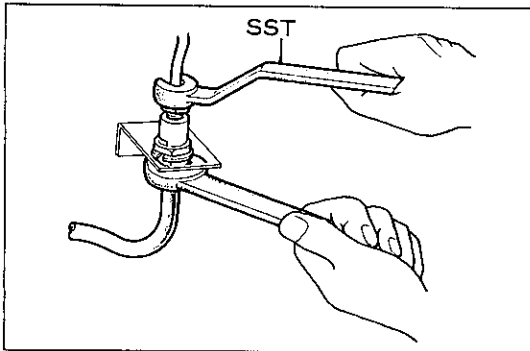


D0373

断面図



B8657



B2009

レリーズ シリンダ取りはずし

1 クラッチ チューブ切り離し (Y X70系)

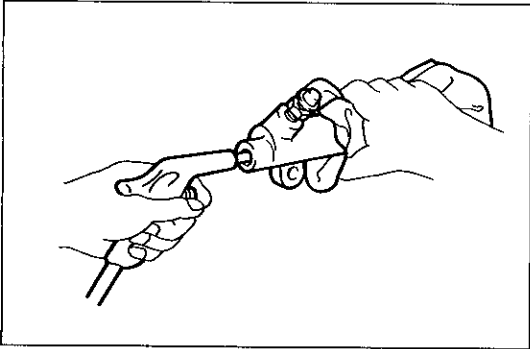
(1) SSTを使用してチューブを切り離す。

SST 09751-36011

2 フレキシブル ホース切り離し (除くY X70系)

3 レリーズ シリンダ取りはずし

(1) レリーズ シリンダ取り付けボルトをはずしてレリーズ シリンダを取りはずす。



D0402

レリーズ シリンダ分解

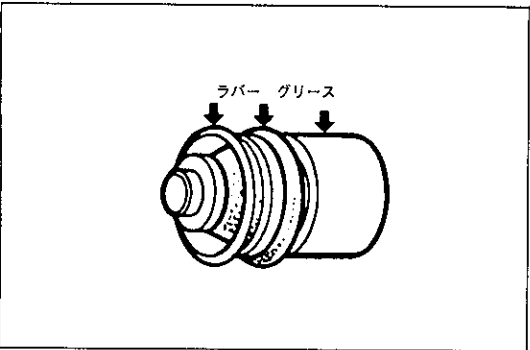
1 ブーツ取りはずし

2 プッシュ ロッド取りはずし

3 ピストン取りはずし

(1) 圧縮空気を使つてピストンおよびスプリングを取りはずす。

注意 ピストンが勢いよく飛び出す恐れがあるのでウエスなどでふさぐ。



B2011

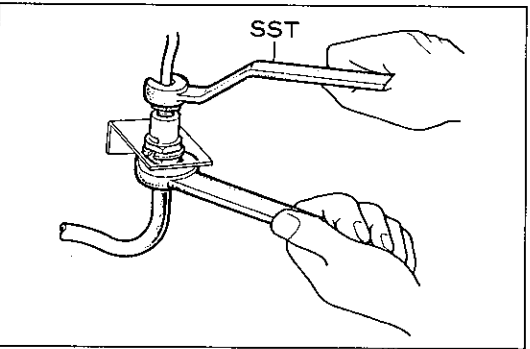
レリーズ シリンダ組み付け

1 キヤツスル ラバー グリース塗布

(1) 取り付け前にカップとピストンにキヤツスル ラバー グリースを塗布する。

2 スプリングおよびピストン取り付け

3 ブーツおよびプッシュ ロッド取り付け



B2009

レリーズ シリンダ取り付け

1 レリーズ シリンダ取り付け

(1) ボルトでレリーズ シリンダを取り付ける。

T=120kg-cm

2 フレキシブル ホース取り付け (除くY X70系)

(1) レリーズ シリンダにフレキシブル ホースを取り付ける。

T=235kg-cm

(2) SSTを使用してクラッチ チューブを取り付け、クリップをそう入する。

SST 09751-36011

T=155kg-cm

注意 ホースのねじれ、他部品との干渉がないこと。

3 クラッチ チューブ取り付け (Y X70系)

(1) SSTを使用してレリーズ シリンダにクラッチ チューブを取り付ける。

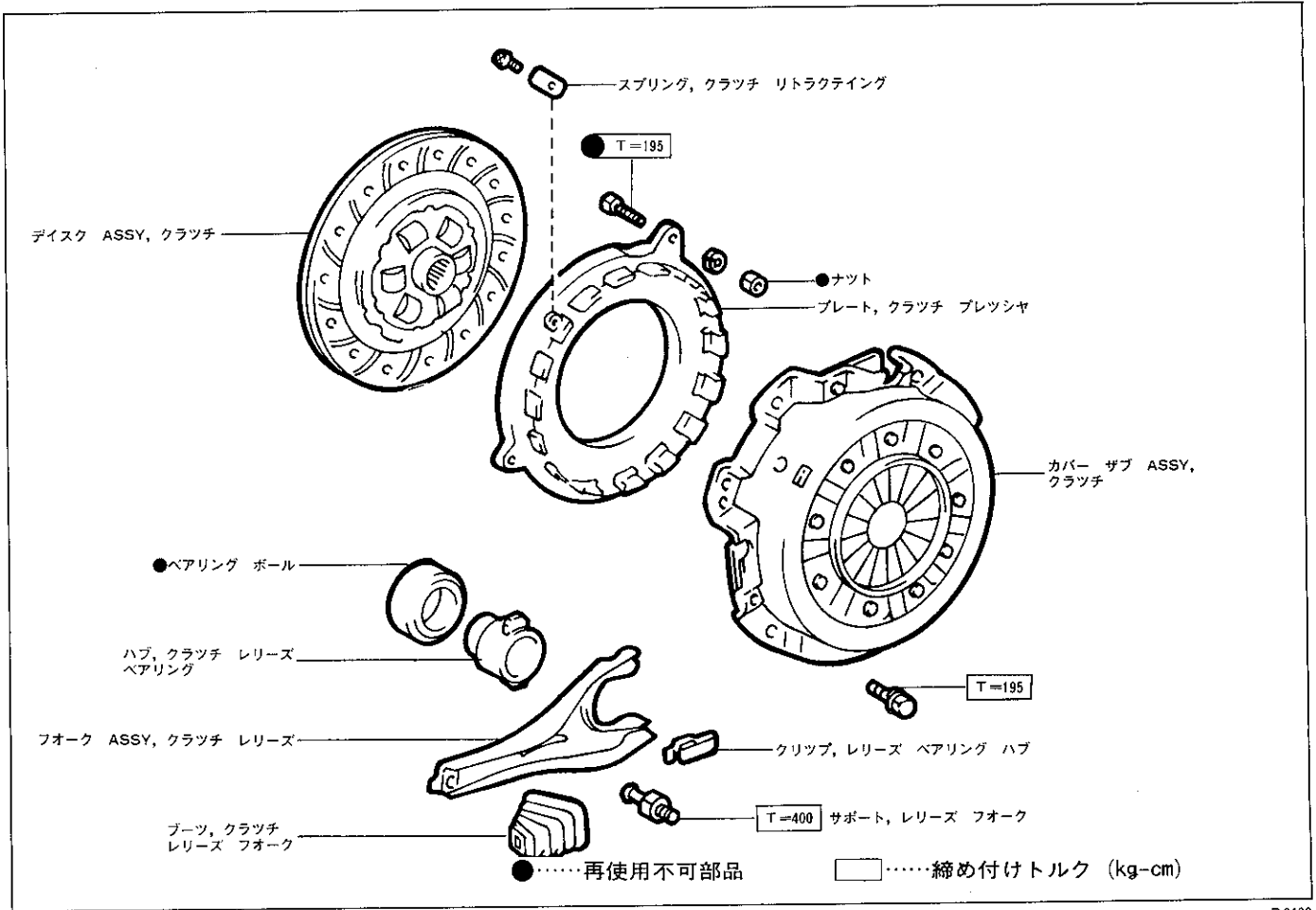
SST 09751-36011

T=155kg-cm

4 クラッチ エア抜き

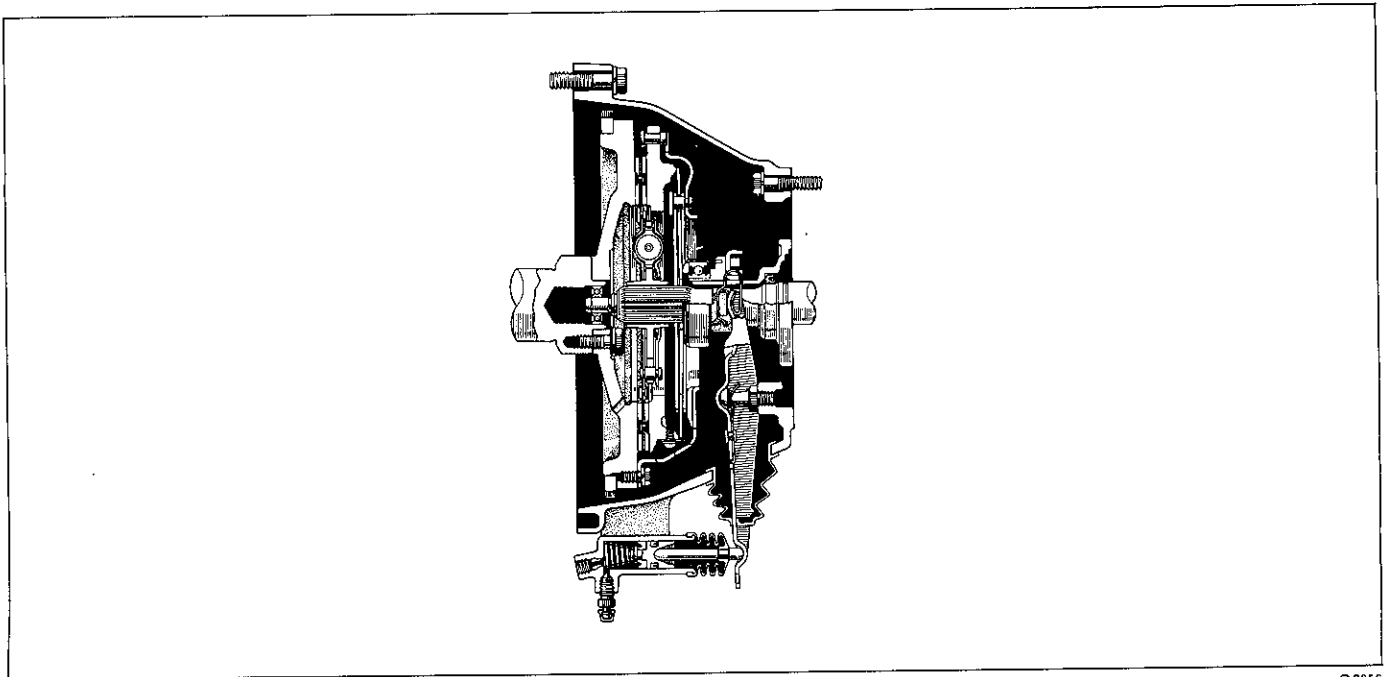
クラッチ本体

構成図



D0403

断面図



B 8656

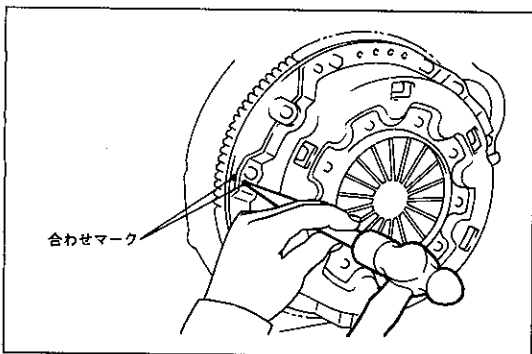
クラッチ本体取りはずし

1 トランスミッション ASSY取りはずし

(S 3 参照)

2 クラッチ カバーおよびディスク取りはずし

(1) クラッチ カバーとフライホイールに合わせマークを付ける。



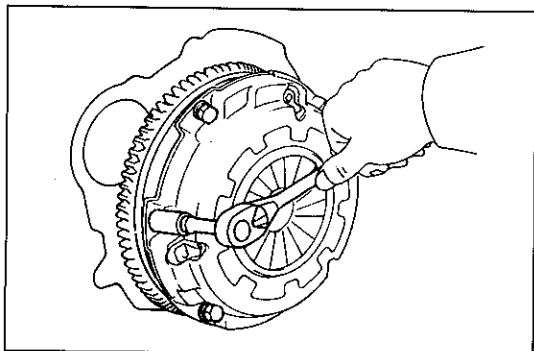
C 2630

(2) SSTを使用して、スプリング力がなくなるまで各セット ボルトを一度ゆるめておく。

SST 09301-20020

注意 ボルトは平均にゆるめる。

(3) セット ボルトをはずして、クラッチ ASSYを取りはずす。

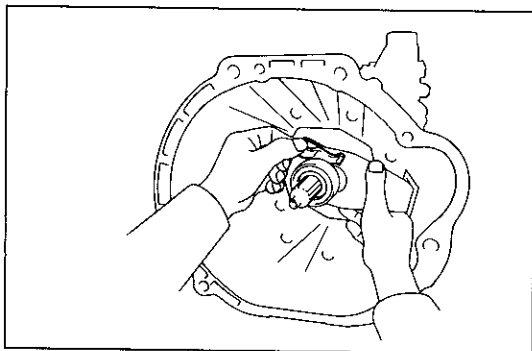
注意 クラッチ ディスク ライニング表面およびフライホイール、プレッシャ プレート摩擦面に油脂類を付着させない。

B 1992

3 クリップ、ハブ ASSY、フォーク、ブーツ取りはずし

(1) クリップをはずして、ハブ ASSY、フォークを取りはずす。

(2) ブーツを取りはずす。



D 0374

クラッチ カバー ASSY分解

1 プレッシャ プレート取りはずし

(1) カバーとプレッシャ プレートに合わせマークを付ける。

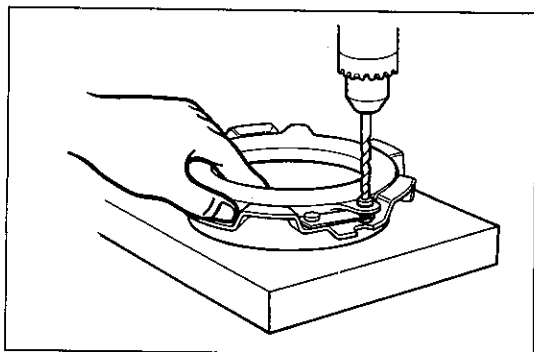
(2) リトラクティング スプリングを取りはずす。

(3) カバーとプレッシャ プレートを切り離す。

① ポンチを使用してリベットのセンタを正確に出す。

② ドリル (φ10) を使用してプレッシャ プレート セット リベットの頭部を削り取る。

③ リベットをたたき出し、カバーとプレッシャ プレートを切り離す。

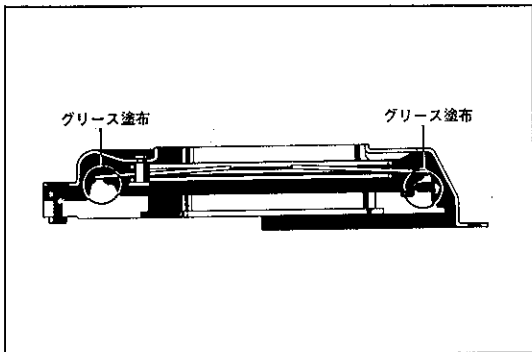
注意 切り離しはプレッシャ プレート側のリベットで行うこと。

D 1332

クラッチ カバー ASSY組み付け

1 プレッシヤ プレート取り付け

- (1) 組み付け前にクラッチ作用時の各しゅう動部にキヤツスル ノンメルト ルブを薄く塗布する。

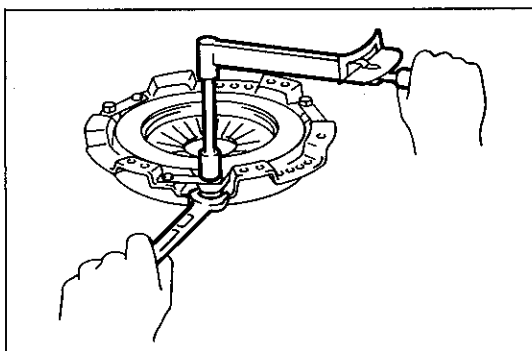


Z4780

- (2) 分解時の合わせマークを合わせる。
 (3) カバー サブ ASSYにプレッシヤ プレートとリトラクテイング スプリングを組み付け、新品のボルトおよびナットを使用して組み付ける。

T=195kg-cm

注意 締め付け後、ナットをかしめる。

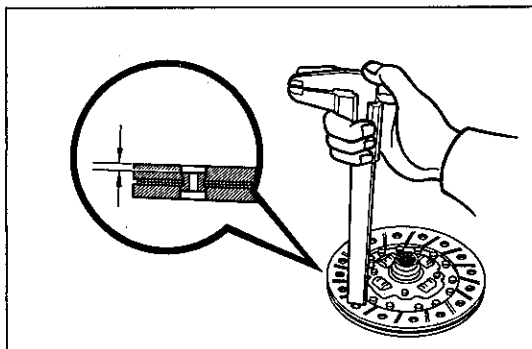


D1331

クラッチ部品の点検および交換

1 クラッチ ディスク点検

- (1) フェーシングの摩耗
 限度 0.3mm (リベットの沈み)
- (2) スプライン部の摩耗および損傷
 ① トランスミッション インพุット シャフトとかん合せたとき、著しいガタがなく引つ掛かりがないことを点検する。



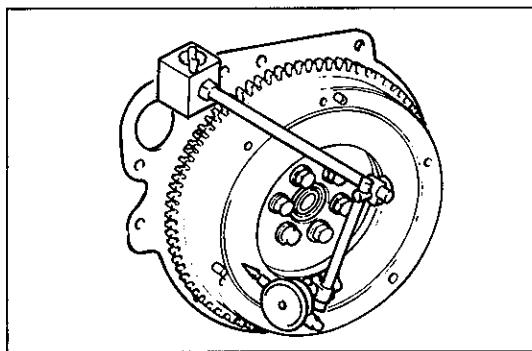
B2014

2 クラッチ ディスクの振れ点検

- (1) ダイヤル ゲージを使用してディスクの振れを点検する。
 限度 0.8mm

3 フライホイールの振れ点検

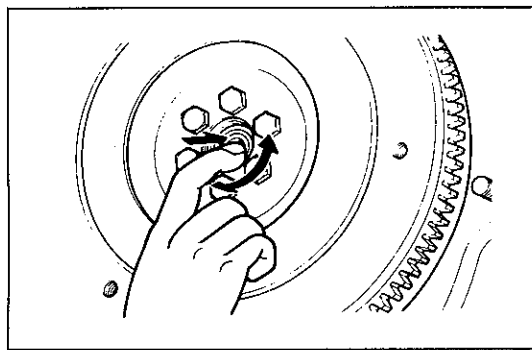
- (1) ダイヤル ゲージを使用してフライホイールの振れを点検する。
 限度 1S-U, 1G-EU, 1G-GEU, 2Y-PU 0.10mm
 2L, 2L-T 0.20mm



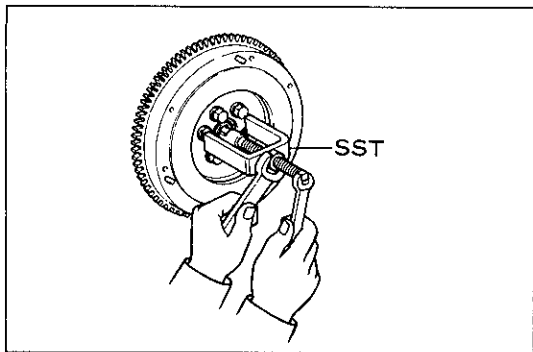
D1467

4 インพุット シャフト フロント用ベアリング点検

- (1) ベアリングに指を入れ、外周方向に力を加えながら回転させて引つ掛かり、異音の有無を点検する。



B2016

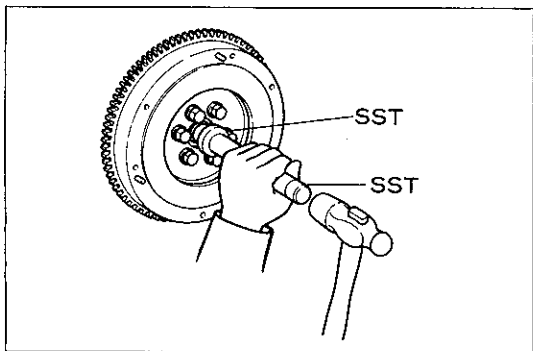


B2017

5 ベアリング交換

- (1) SSTを使用してベアリングを取りはずす。

SST 09303-35011



B2018

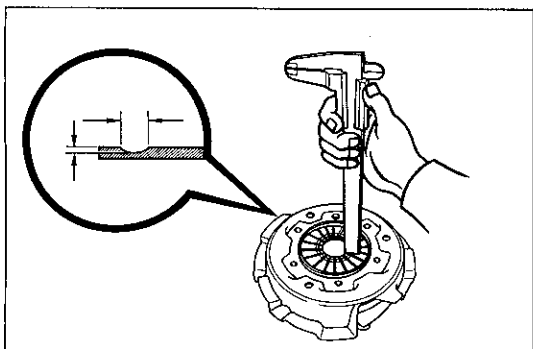
- (2) SSTを使用してベアリングを取り付ける。

SST 1S-U, 1G-EU, 1G-GEU

.....09631-00020, 09627-30010

2L, 2L-T, 2Y-PU

.....09623-30010

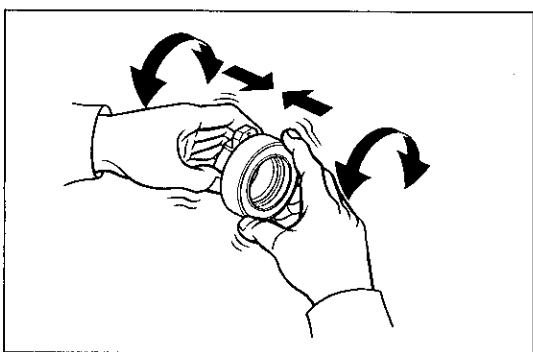


B2019

6 ダイアフラム スプリング フィンガ部の摩耗点検

限度 0.6mm (深さ)

5.0mm (幅)

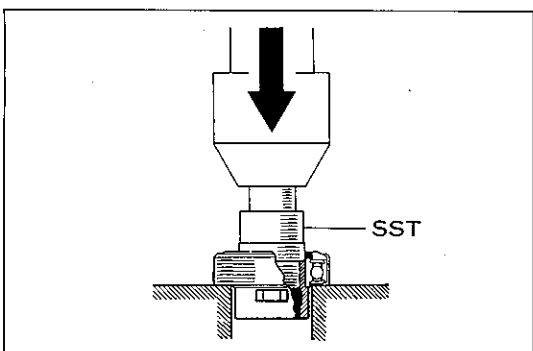


B2020

7 レリーズ ベアリング点検

- (1) スラスト方向に力を加えながら回転させて回転の引っ掛かりおよび異音の有無を確認する。

注意 ベアリングはグリース封入式のため洗浄しない。



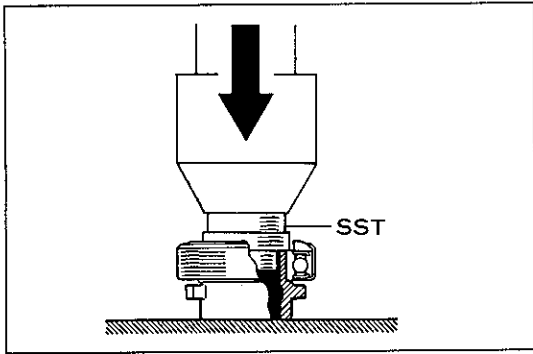
B2021

8 レリーズ ベアリング交換

- (1) SSTとプレスを使用してレリーズ ベアリングをハブから抜き取る。

SST 09315-00010 No.1

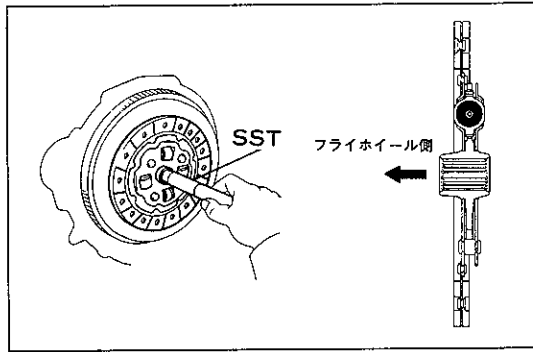
注意 ベアリングは不良の場合以外ハブより取りはずさない。



B2022

(2) SSTとプレスを使用して新品のベアリングをハブに圧入する。

SST 09315-00010 No.2



B2024 B2023

クラッチ本体取り付け

1 クラッチ ディスクおよびクラッチ カバー取り付け

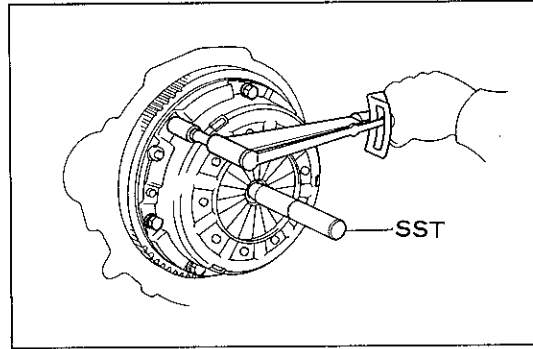
(1) SSTを使用してフライホイールにディスクを取り付ける。

SST 09301-20020

- 注意** ・クラッチ ディスクは方向性がある。
- ・クラッチ ディスク ハブ内にキャツスル クラッチ グリースを塗布する。

(2) ボルト締め付けは対角線に相對する順に徐々に行い、軽く締め付けた状態でSSTを上下左右に軽く揺すり中心位置にあることを確認し、ボルトを規定トルクで締め付ける。

T=195kg-cm

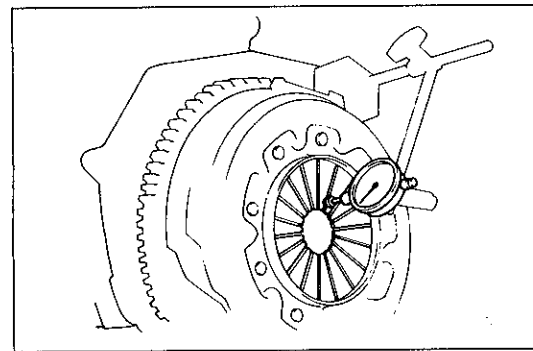


B2025

2 ダイアフラム スプリング フィンガ部の高さ不ぞろい点検および修正

(1) ダイヤル ゲージを使用してフィンガ部の高さ不ぞろいを点検する。

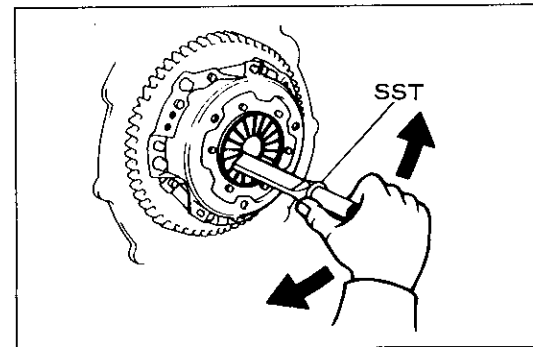
限度 0.5mm



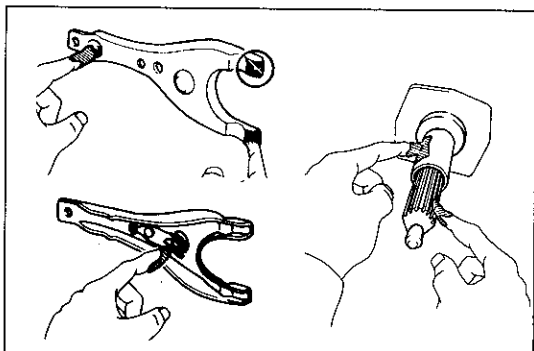
CL0105

(2) 限度を超える場合はフィンガ部の高さ不ぞろいを修正する。

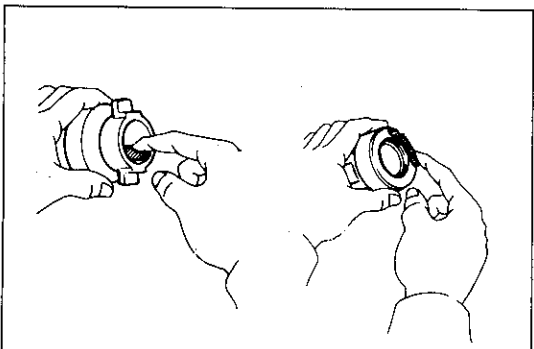
SST 09333-00012



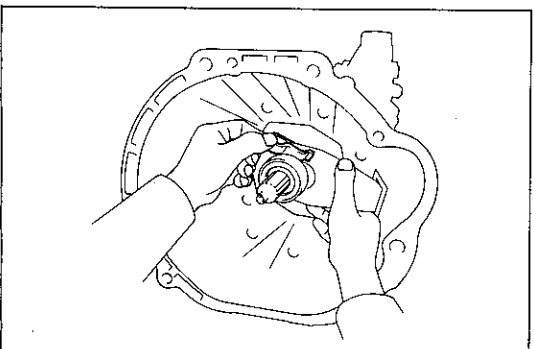
B2027



B 2028 B 2029



B 2030



D 0374

3 グリース塗布

(1) 下記箇所にキヤツスル クラッチ グリースを塗布する。

① インプット シヤフトのスプライン部

(2) 下記箇所にキヤツスル クラッチ グリースまたはキヤツスル シヤシ グリース スペシャルを塗布する。

① ハブとフォークの当たり面

② フォークとフォーク ボール当たり面

③ レリーズ フォーク先端部

④ ハブ内面のみぞ部および内壁面全域

(3) 下記箇所にキヤツスル MP グリース No.2を塗布する。

① ベアリングとダイアフラム スプリング フィンガ部当たり面

4 ブーツ、フォーク、ハブ ASSY、クリップ取り付け

注意 取り付け後、レリーズ フォーク ASSYを前後に動かし
ハブがスムーズにしゅう動することを確認する。

5 トランスミッション ASSY取り付け

(S 3 参照)